

日中戦争参戦記 中国戦線に三年

日中 15 年戦争は、昭和 6 年の満州事変から昭和 20 年 8 月から 10 月まで中国本土で行われた。日本軍は中国領各地を攻撃、占領、爆撃、破壊、略奪を繰り返した。一方、中国は、日本本土は勿論日本領（朝鮮など）に爆撃、上陸攻撃などの行為はなかった。侵略戦争であった。15 年戦争の終期、3 年米英他の連合軍との戦いで敗れ終了した。私は、その昭和 18,19,20 年の 3 年間に中国本土で参戦した。

軍国少年

第 1 次世界大戦の直後、大正 11 年生まれた。12 年に大震災を体験した、正に世界恐慌のただなか、昭和 4 年小学校 1 年生、意味もわからずルンペン節等を歌った。昭和 15 年の紀元 2600 年式典等で皇国意識を高め、反面外国人侮辱（シナチャンコロ、アメ公）、八紘一字など侵略の正当化が進められた。小学生はその気になっていた。

初年兵訓練

臨沂は行けど進めど麦また麦の「徐州いよいよか住みよいか」の軍歌で知られる徐州の近くである。高く厚い城壁に囲まれた歴史ある都城である。13 年ころの大会戦で市街地も破壊され住民も若い男女は全く見かけられず、暗い表情であった。当面の敵は八路（パーロー）軍と言う最強の共産党軍である。鉄道と駅、主要な都市を取り組む農村は全てその勢力下で軍規も厳しく住民の信頼も厚い。日頃、日本軍に攻撃を仕掛けることはないが、夜は危ない。小人数で郊外で行動するなど危険である。対峙しているわけではないが、いつ襲われるかわからない全く不気味な存在である。だから、部隊も兵個々も常に戦闘態勢でいなければならぬ。演習中、外出時は勿論、内務班で寝てる間も小銃弾、手りゅう弾を各自で所持する。従って到着早々の初年兵にも実践的な訓練が課せられた。着後、数日後人家から離れた野外訓練場に何本かの丸太に中国人捕虜が縛られていた。指揮官が指さす「ここは戦地である。敵を殺さなければ、己が殺されるのだ。お前たちはお国のために戦うのだ。刺し殺すのをためらってはならない。」号令が叫ばれる。「付け剣、突撃に進め、突っ込め、刺突！！」目をつぶったまま「ヤー、ヤー」と皆半泣きの状態であった。後年捕虜を刺殺する訓練を拒否した初年兵がすさまじいリンチにあったと言う話聞いた。被害者はもちろん加害者も心に消えない傷を負わされた。戦争の犠牲者であったと思う。初年兵の恐怖はパーロ軍や野外演習だけではない。内務班の上等兵、古年次兵のリンチである。「上官の命令は天皇の命令なるぞ」（軍人勅諭）と言う理屈をつけての私的制裁は限

りがない。このような生活が続いたことによる大事件があった。同班の初年兵が夜半に離れた厠で自らの小銃で自殺した。間近の銃声で皆驚いたが、皆口をつむぐばかりであった。おそらく戦死として処理されたのであろう。

厳重な試験があり、不合格者は2等兵のまま原隊へ。800人中合格者40名、2か月ほどの猛訓練、実戦に参加、1名死亡。成績から甲種16名、乙種23名に分ける。甲種は北京の近くの保定幹部候補生(軍曹)。私は、16名の中に入り保定に向かった。6か月の訓練は血の出る思いであった。古年次兵がいない内務班が救いであった。7月終了、はれて見習士官。38式歩兵銃と別れて軍刀を腰にした。

連隊本部に戻るつもりでいたところ、我われが保定で訓練に励んでいた4月、連隊約3000名は上海で輸送船団に組み込まれ、フィリピンに向かう途中、バシー海峡でアメリカ潜水艦の魚雷攻撃で轟沈。部隊は全滅。

独立旅団槍部隊に配属。

当面の敵は国府系のゲリラが主である。毎日14-15人が便衣(中国服)を討伐。船で水路をゆく。〇〇で小集団のゲリラを討ち、小銃その他の武器を捕獲、数名の捕虜という戦果を報告。私は2-3回参加命ぜられた。

将校にそれぞれ当番兵が付く、食事、洗濯、その他一切の面倒をみる。メイドである。38歳の禅僧である。中隊に戦死者が出た時には導士を務める。教養も社会的地位も私の及ぶところではないが、軍隊は階級と年次が絶対である。彼はきちんと役目を果たし、私もそれなりに対応して親しみを増した。1944年9月末、掃討作戦を行う。クリーク対岸の敵部隊と接触、銃撃線となる。僧の部下と捕虜敵が死亡した。

沖縄戦や原爆等は知らされていないが、対米戦闘を予想した訓練も行った。8月はじめ、旅団を上げて大きな規模のゲリラ掃討作戦を行った。抵抗も少なく空振りの感じであった。一般民家に対する兵の略奪行為がしばしば行われ、軍規の乱れに前途危機感を抱いた。作戦は急に中止され帰隊した。(上層部ではすでに終戦情報を得ていたのではないか)終戦の通知を中隊長が受けたのは9月15日であった。

中隊が杭州市に徒歩で引き揚げる。国府軍に武装解除された。完全降服したのは10月15日であった。さらに1年の捕虜生活のち懐かしい日本本土を踏めた。

(H・I)